

洞爺湖町

知北 紗代子

1.概要

1.1 地名

町名は洞爺湖に面することから命名された。アイヌの人々は、洞爺湖のことを「キムント(キム・ウン・ト)」「(山の湖)」と呼んでいたが、和人によって「湖の岸」「湖に面した丘」を意味する言葉「トヤ(ト・ヤ)」が湖名とされ、現在に至っている。

図 1 洞爺湖町町章



出典：洞爺湖町役場

1.2 歴史

2006 年 3 月 27 日、虻田町と洞爺村の新設合併によって誕生した。もともと両町村は虻田村(旧虻田町に相当)として一つの村であったが、1920 年に虻田村から洞爺村が分村していた。当町の誕生により、両町村は 86 年ぶりに 1 つに戻ったことになる。

図 2 洞爺湖町 地図



出典：洞爺湖町役場 HP

1.3 地理・気候

洞爺湖町は総面積 181 km²で、緯度 42 度 34 分 14.653 秒、経度 140 度 47 分 35.603 秒の北海道道央地域の南部「支笏湖洞爺国立公園」区域に位置する。下台地が洞爺湖の湖面に向かって南傾斜し、北の高台地は羊蹄山麓に続いている。

洞爺湖は、北海道南西部に位置する洞爺湖町と有珠郡壮瞥町にまたがる湖で、屈斜路湖、支笏湖に次いで三番目の規模をもつカルデラ湖である。

1920 年に電源開発を目的に流出河川に建設された壮瞥発電所、長流川の川水を利用した洞爺発電所、保内ダムの建設によって、湖内に長流川の川水が流入するようになると、元々は透

図 3 洞爺湖町の位置



出典：胆振支庁 HP

明度の高い極貧栄養湖であった洞爺湖は、幌別硫黄鉱山、徳舜警鉱山、弁景鉱山といった閉山した鉱山の廃水や、南岸の洞爺湖温泉街をはじめとする排水の流入の増加に伴い、透

表 1 洞爺湖町の変遷

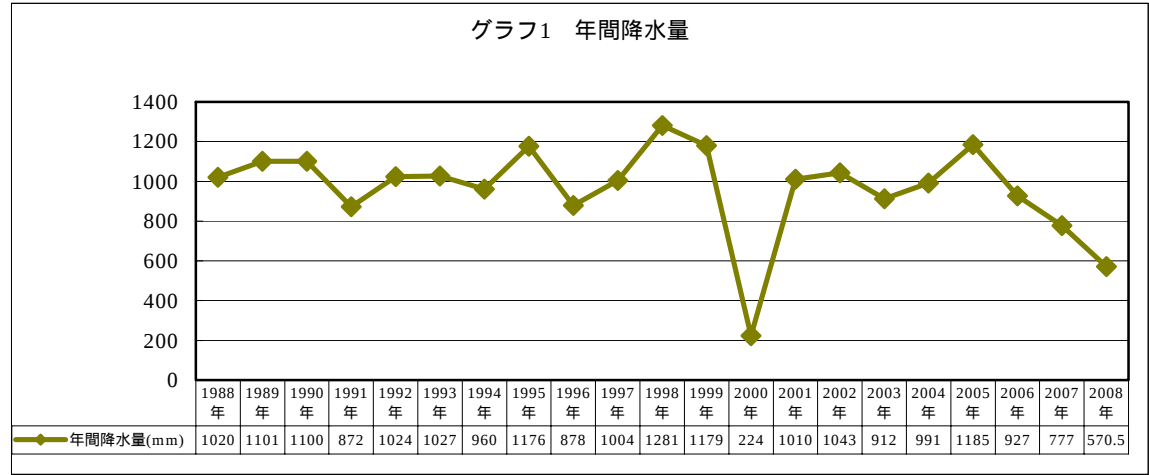
【旧虻田町】	【旧洞爺村】
・1880 年虻田村に虻田郡各村戸長役場を設置。虻田村・振苗村・弁辺村・礼文村を管轄。 ・1882 年振苗村を併合。 ・1893 年倶知安村(現在の倶知安町、京極町)を分村。 ・1897 年真狩村(現在の真狩村、留寿都村、ニセコ町、喜茂別町)を分村。 ・1909 年弁辺村(現在の豊浦町)を分離して虻田村役場を設置。 ・1917 年洞爺湖温泉開湯。開湯当初は「床丹温泉」という名前であったが、後に湖名にちなんで洞爺湖温泉となった。 ・1938 年 4 月 1 日一級町村制施行。 ・1938 年 10 月 1 日町制施行し虻田町となる。	・1887 年香川県より 76 名が大原地区に入植したのを開基とする。 ・1895 年数十戸の小作人が成香の 600 ヘクタールに入り、開拓に着手。現在の洞爺村の基礎ができる。 ・1902 年虻田村・弁辺村組合役場設置。二級町村制施行。 ・1920 年 5 月 5 日虻田村から分かれて洞爺村が誕生する。 ・1938 年優良自治団体として、内務大臣表彰を受ける。 ・1947 年村議会議員選挙が行われ、初代公選村長が誕生する。

【洞爺湖町】
・2006 年 3 月 27 日虻田町と洞爺村の新設合併により成立 ・ 2007 年 4 月 23 日政府は、2008 年の主要国首脳会議の開催地を洞爺湖町に決定。 ・ 2008 年 7 月 7～9 日 洞爺湖サミット開催

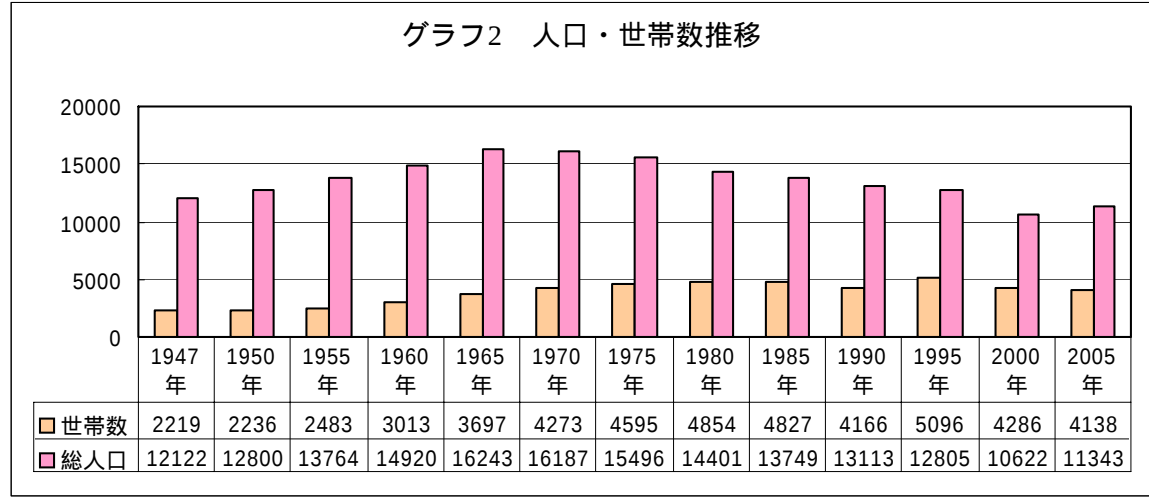
出典：2008 北海道洞爺湖サミット HP

明度の低下が著しくなった。1970 年には湖水は pH5 まで酸性化し、多くの生物が死滅したが、1973 年から本格的に行われた長流川上流の鉱山廃水の中和事業と、1977 年（昭和 52 年）の有珠山大噴火による噴火活動で大量の火山灰が洞爺湖へ降り注ぐと、アルカリ性の火山灰によって酸性の湖水が中和され、1995 年には pH7 前後まで回復した。

気候は内浦湾の影響を受け春がやや不順であるが、晩秋は良好で、盛夏時には札幌などと類似した大陸型の様相となる。年間降水量自体は全国平均に比べて少ない傾向にあるが年間降雪量は多く、特に旧洞爺村区域は特別豪雪地帯とされている。道内でも気候温暖なことで知られるため、北海道の湘南地方ともいわれる。洞爺湖によって適度な湿度が供給され、農業に適した気候条件である。



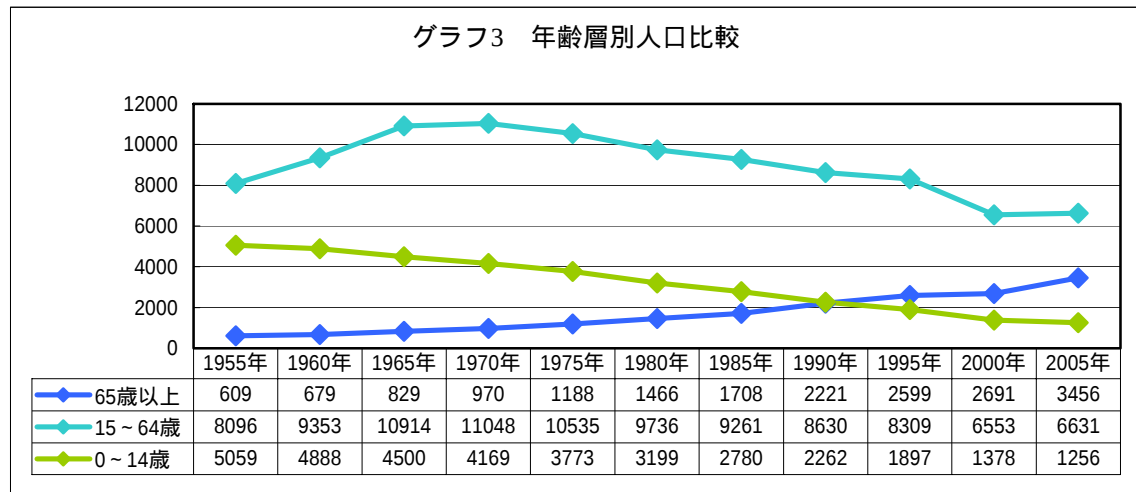
出典：



出典：国勢調査

1.4 人口・世帯数推移

旧虻田町と旧洞爺村の総人口は減少を続けており、町村合併時（2006 年 4 月 1 日現在：住民基本台帳）では、人口 11143 人（男 5216 人、女 5927 人）5297 世帯となっている。



出典：国勢調査

グラフ2において、例えば1970年と2000年のように、世帯数が近い数値であっても人口に差が見られる年がある。これは若年層の流出が原因の一つに考えられるのではないだろうか。

実際に、高齢者(65歳以上)人口は増えており平成17年では、3,456人で高齢化率30.4%と北海道平均(21%)、全国平均(19%)を大きく上回っている一方で、0～14歳人口は急激な減少傾向にある。また15～64歳の中間層人口も減少傾向にあり、少子化・高齢化が進んでいることが読みとれる。

2. 産業

2.1 洞爺湖町の産業とバイオマスタウン構想

バイオマスは、生物資源(bio)の量(mass)を表す概念で、一般的には「再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの」と定義される。バイオマスタウンとは、地域において、広く地域関係者の連携の下、バイオマスの発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれた総合的利活用システムが構築され、安定的かつ適正なバイオマス利活用が行われているか、または今後行われることが見込まれる地域を云う。

洞爺湖町は、2008年7月に開催される北海道洞爺湖G8サミットを控え、さらなる循環型社会の形成やCO₂削減を目指し、バイオマス構想を策定した。当構想においてポイントとして挙げられた4項目は次の通りである。

- ・農産物の地産地消(農産物の生産を進展させ、温泉街のホテル・旅館で地場産の食材を用いたメニューの開発、提供を検討)
- ・堆肥の高品質化(町内で既に取り組みされている漁業系残さなどを原料とした堆肥化・堆肥利用のさらなる進展のため、高品質化を進めると同時に安定した供給体制を構築)
- ・未利用バイオマスの利活用促進(林地残材やすき込まれている農作物非食用部の有効

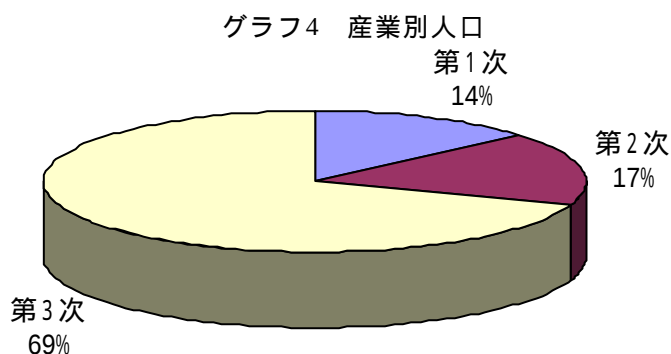
活用方法を検討)

・エネルギーの地産地消(温泉街のホテル・旅館やハウスでのペレットボイラーの導入、排出される廃食用油の有効活用や、地熱・温泉廃熱等と組み合わせての利用を検討)

これらはどれも産業に直接的に関連する事柄であり、洞爺湖町において、産業は環境問題の観点からも重要な役割を担っているといえる。

2.2 産業別人口

旧虻田町域を中心に、洞爺湖温泉を中心とした観光関連産業への依存度が大きく、サービス業や小売業の就業者が多くなっている。旧洞爺村区域では農業が盛んに行われているが、全体的な産業別人口においては第3次産業の勢力が強く、7割と大半を占めている。



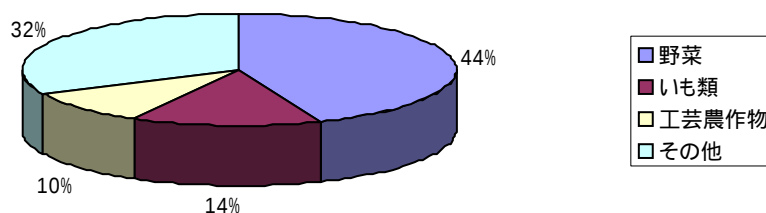
出典：国勢調査

2.3 農業

上述の通り、旧洞爺村における割合が高い。普通作物では水稻、小麦、小豆やいんげんなどの豆類や果樹が収穫されており、野菜ではセルリーと赤葉大シソが北海道でもトップクラスの生産量を誇っている。それによって全体的な生産量も野菜が最大で、全体の4割を占めている。畜産も行われており、中でも洞爺牛は、生産量は少ないが高級ブランドとして有名である。また、和菓子の原料である高級菜豆の作付けが道内有数を誇る。

ただし、農家人口は全体的に見てかなり少数であり、町全体の人口からみた割合も減少している。また農業就業者の内訳において、最も多い年齢層は男性では75歳以上、女性では65～69歳で、就業者の高齢化がみられる。45～49歳の就業人口も比較的多めではあるが、それより下の若年層がかなり少なく、今後農業の継続に問題が生じる可能性もある。

グラフ5 農業産出額の内訳

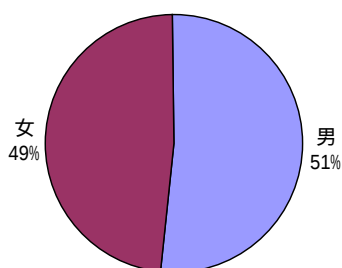


出典：農林水産省HP

図4 セルリー（写真左）と赤葉大シソ（写真右）

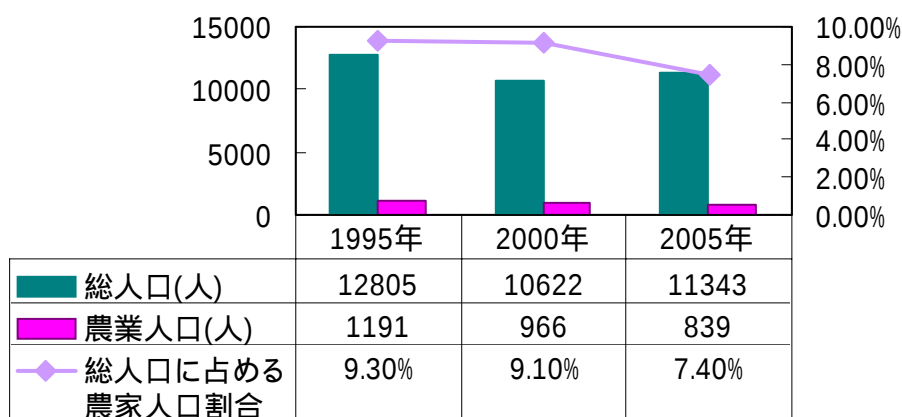


出典『洞爺湖町バイオマスタウン構想』
グラフ6 農家人口の男女比



出典：農林水産省 HP

グラフ7 全体に占める農業人口とその割合の推移

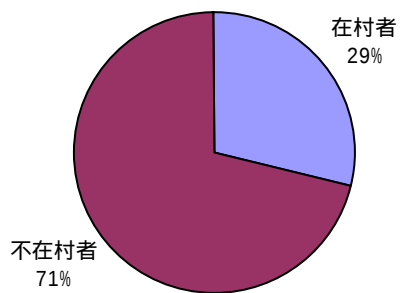


出典：農林水産省 HP

2.4 林業

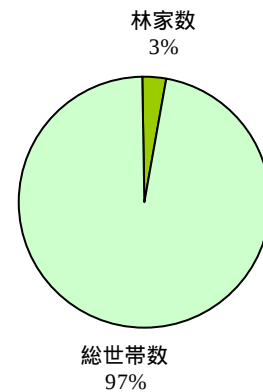
森林は、民有林 6279ha 町有林 1052ha 合計 8184ha であり、総面積の 45%を占めている。森林蓄積としては、全体で 5139 百 m^3 のうち広葉樹(3780 百 m^3)・自然樹(3842 百 m^3)が中心となっている。林業は県外の土地所有者が多いため整備率が低く、林業従業者の割合は少ない。

グラフ8 林業における在村者と不在村者の私有林面積の比較



出典：農林水産省 HP

グラフ9 林家数と総世帯数の比較

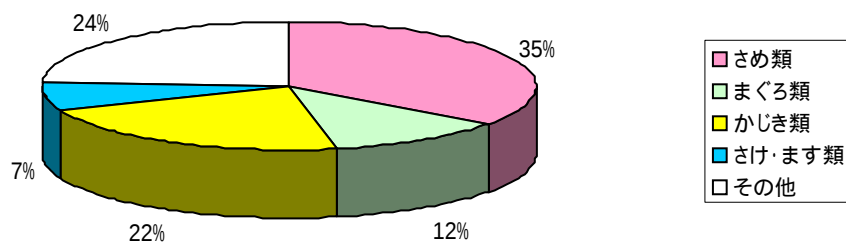


出典：農林水産省 HP

2.5 漁業

漁業では噴火湾でのホタテの養殖を中心にホタテ、ウニ、カレイなどの水産加工業が盛んに行われている。洞爺湖町の漁場規模は、海岸線 8 km、魚家数は 50 戸であり、ホタテ養殖業が漁業生産額の 90%を占めている。また洞爺湖における内水面漁業においては、ヒメマスの孵化・放流が行われている。

グラフ10 海面漁業の魚種別漁獲量

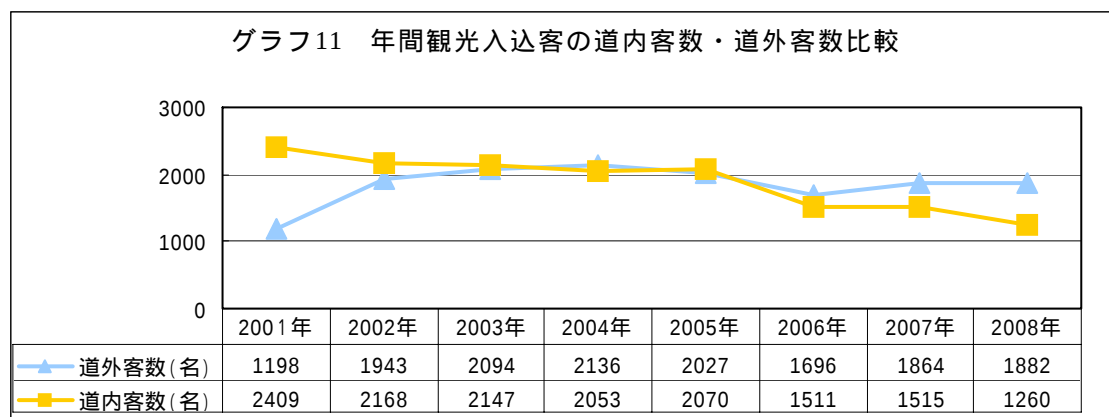


出典：農林水産省 HP

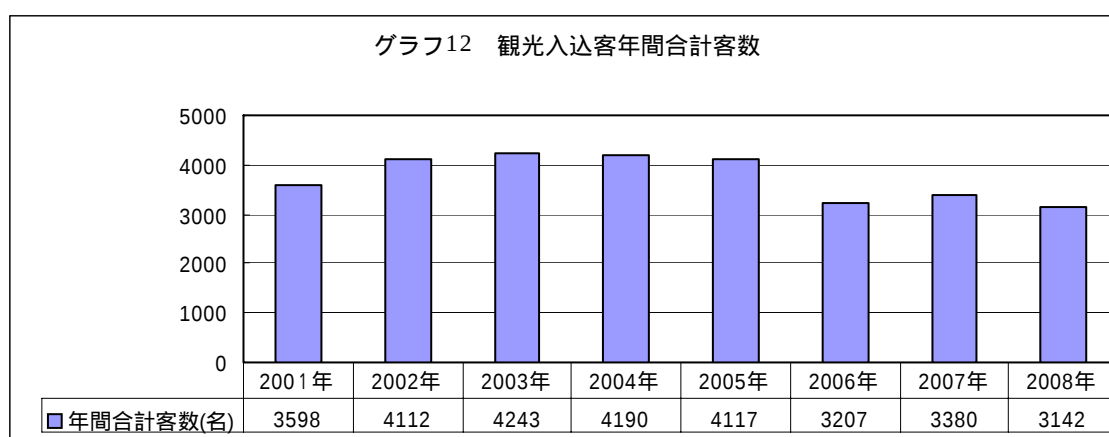
表 2 海面漁業の魚種別漁獲量

合計	810 t	うち、上位 20 種	
1 さめ類	288 t	6 たこ類	20 t
2 かじき類	175 t	7 なまこ類	11 t
3 まぐろ類	94 t	8 うに類	6 t
4 さけ・ます類	56 t	9 ほたてがい	5 t
5 ひらめ・かいらい類	23 t	10 こんぶ類	1 t

出典：農林水産省 HP



出典：北海道庁 HP



出典：北海道庁 HP

2.6 観光

洞爺湖温泉の宿泊客数は1994年をピークに低迷をたどる中、2000年の有珠山噴火の影響により道外観光客の激減を招き、大きな損害を受けた。その後、官民一体となった国内外での積極的な旅客誘導を展開し、現在は噴火前の90%程度まで回復傾向にある。

観光地としては、全国的に有名な洞爺湖温泉をはじめ、支笏洞爺国立公園「洞爺湖」や「有珠山」があり、豊かな自然とふれあうことのできる場が充実している。

湖畔には彫刻を見ながら散策のできる「洞爺湖湖畔散策路」がある。ここには58基の彫刻のオブジェが点在しており、景観にも優れ、レンタサイクルでの散歩もできる。これと同時に整備された散策路に「とうや湖ぐるっと彫刻公園」があり、周囲約40kmの洞爺湖畔を一周めぐるように、国内外の作家による彫刻がたたずんでいる。

また中島をまわり、その自然を楽しむことの出来る「エスポアール」などの遊覧船も運航しており、約1時間の船旅を満喫できる。洞爺湖は不凍湖であるため冬の期間も営業しており、花火大会の時期には、花火の打ち上げ船を追って走る花火鑑賞船も出航している。有珠山には西山火口散策路があり、2000年の噴火により洞爺湖温泉の間近に生じた火口を

到着地点として、道中に噴火によって破壊された民家や工場、約 70 メートルも隆起した道路、傾いた信号機や看板など、噴火による当時の被害の様子を見学することが出来る。

洞爺湖温泉の開湯は 1917 年、三松正夫（アマチュア火山研究家、昭和新山の定点観測の記録「ミマツダイヤグラム」で有名）、杉山春巳、安西岩吉の 3 人が、洞爺湖の湖水が熱い場所があることを知り、湖岸で 43 の源泉を発見したことが始まりである。その後北海道庁から温泉利用許可を取得し、「竜湖館」という旅館が開業した。開湯当初は「床丹温泉」という名前であったが、後に湖名にちなんで洞爺湖温泉となった。当初はひなびた湯治場的な雰囲気だったが 1949 年に支笏・洞爺国立公園に指定されると観光客が激増し、現在のような一大温泉地に発展することとなった。

洞爺湖湖畔には洞爺湖温泉の他にも洞爺月浦温泉、壮瞥温泉、財田温泉、洞爺温泉、仲洞爺温泉などの温泉があるが、洞爺湖温泉が中心地でありホテルや旅館の数も多い。代表的なホテルの例としては洞爺サンパレス、洞爺湖畔亭、洞爺観光ホテルなどがあり、多くの宿は湖を見下ろす露天風呂が自慢で、晴れた日には羊蹄山を望むこともできる。イベントも数多く行われており、4 月 28 日～10 月 31 日の期間に洞爺湖温泉湖畔で行われる「洞爺湖ロングラン花火大会」や、毎週日曜日の朝に洞爺湖町の産物を安価で提供している「とうや湖温泉朝市」などがある。また温泉街には手湯・足湯が点在しており、犬専用の足湯もある。それらを巡るスタンプラリーも行われた。

図 5 洞爺湖町温泉街（写真左）と温泉街 12 ヶ所に点在する手湯・足湯（写真右）



出典：『洞爺湖町バイオマスタウン構想』

図 6 とうや湖ぐるっと彫刻公園、洞爺湖湖畔散策路にある彫刻



出典：MAPPLE 観光ガイド

< 参照ホームページ >

・胆振農業改良普及センターHP : <http://www.agri.pref.hokkaido.jp/fukyu/ibr/index.html/>

・ANA 旅達空間 : <https://tabidachi.ana.co.jp/>

・『洞爺湖町バイオマスタウン構想』:

http://www.biomass-hq.jp/biomasstown/pdf24/24_2.pdf

・北海道洞爺湖サミット HP :

<http://g8-summit.town.toyako.hokkaido.jp/shizen/kazan/shinzan/index.html>

・洞爺湖町役場 HP : <http://www.town.toyako.hokkaido.jp/index.jsp>

・農林水産省 HP わがマチ・わがムラ : <http://www.tdb.maff.go.jp/machimura/>

・胆振支庁 HP : <http://www.iburi.pref.hokkaido.lg.jp/>

・北海道庁 HP : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/index>

・洞爺湖-Wikipedia- :

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B4%9E%E7%88%BA%E6%B9%96>

・洞爺湖町-Wikipedia- :

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B4%9E%E7%88%BA%E6%B9%96%E7%94%BA>

・洞爺湖温泉-Wikipedia- :

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B4%9E%E7%88%BA%E6%B9%96%E6%B8%A9%E6%B3%89>

・MAPPLE 観光ガイド HP : <http://www.mapple.net/>

・バイオマス情報ヘッドクォーター : <http://www.biomass-hq.jp/biomasstown/index.html>